

～第10回(平成22年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生と学生寄宿舍

学部生の6割、
大学院生の4割が入居

加東キャンパス東側の「学生居住施設地域」に、単身用学生寄宿舍4棟(全560室)、世帯用学生寄宿舍7棟(全560室)が立っている。学部生の58%、大学院生の42%(修士40%、専門職50%、博士10%)が入居しており、学部と修士は前回調査(平成20年度)よりも増加している。

学生向けマンションやアパートで暮らしている学部生、大学院生も多数おり、寄宿舍への入居を希望しない理由(複数回答)としては、学部生は「部屋が狭い」「共同生活が窮屈」「プライバシーが守れない」、大学院生は「部屋が狭い」「日常生活に不便」などの意見があった。しかし、学部生の寄宿舍への入居を「希望しない」割合は前回調査よりも大幅に減少している。安全性の高い立地や寄宿料の安さなどが要因ではないかと考えられる。

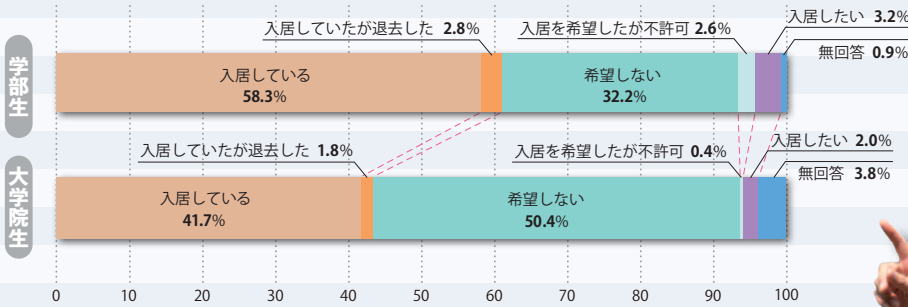
寄宿舍の
メリット

全学部生・大学院生の約半数が寄宿舍に住んでいます。寄宿舍は大学の敷地内にあるので、勉強にきわめて適した環境です。単身用は全て個室といっても、共用の設備や当番などがあるので、共同生活の側面もたくさんあります。また、学部生やストレートマスターにとって各棟の自治組織に参加することは、社会生活を始める第一歩と言えるでしょう。



たけむら あつし
竹村厚司
学生委員会委員長

学生寄宿舍の入居について



キャンパスの最東端に立つ棟に住んでいますが、授業のある共通講義棟までは歩いて5分、500歩ほどです。寄宿舍の魅力は破格の家賃や通学に交通費がかからないなどが挙げられますが、何と言っても、一番は物理的にも精神的にも勉強に没頭できる環境にあることです。今では勉強時間が生活の一部に組み込まれていますね。各棟では日頃のあいさつや清掃、行事等を通してコミュニティーが形成されています。住民同士の信頼関係の上に、快適な生活環境が保たれています。双子の娘たちは附属小学校に通っています。多くの友達ができ、積極性も出てきて大きく成長したと思います。

世帯用に入居



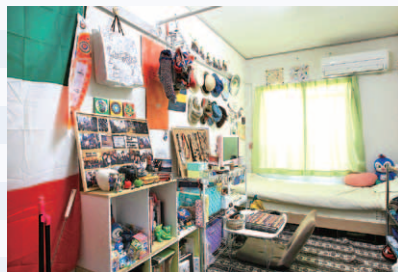
よし だかなめ
吉田要さん
大学院専門職学位課程
学校経営コース2年

単身用に入居



よしなが ひろか
吉永旭希さん
学校教育学部社会系コース3年

一人で過ごすには十分な広さです。隣室の物音なども聞こえません!快適ですよ



間取りは3K。光ファイバーが完備されているので入居してすぐネットがつながりました